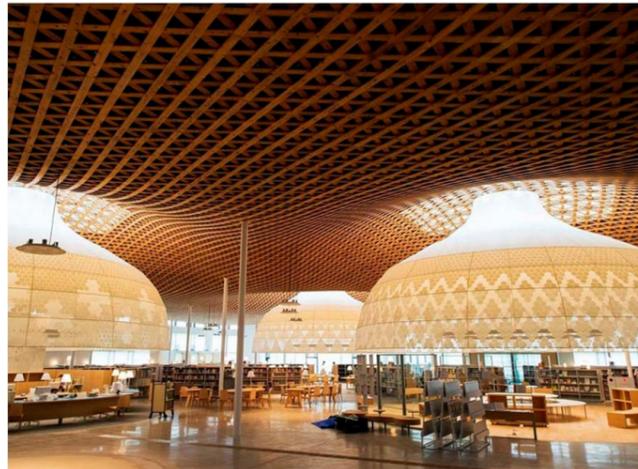


## 外観



金華山の山並みに呼应した起伏のある屋根を特徴とした象徴的な建物フォルム。市立中央図書館、市民活動交流センター、展示ギャラリーなどからなる複合施設は、「知と文化、絆」を育む拠点として活用される。

## 内観



県産材の銘木「東濃ひのき」を用いた格子状の天井構造と「グローブ」と呼ばれる漏斗形状のかさにより、大きな家と小さな家のイメージを創出。建築コンセプトである「にぎわいのあるまち」を表現した。

## 1F多機能トイレ



さまざまな利用者を想定して、各フロア3ヶ所ずつ多機能トイレを設置。コンパクト多機能トイレバックを採用、大型ベッドやベビー配慮器具など、トイレごとに異なる器具を設置し、機能分散化を図っている。

## 1Fこどものへや キッズトイレ



「こどものへや」には、保護者に見守られながら利用できるキッズトイレを設け、グリップ付きの小便器と幼児用大便器を設置。大便器ブースには、パンツタイプのおむつ交換のためのフィッティングボードも設置。

## 1F男性トイレ 大便器ブース



男性トイレの大便器ブースは、立ち座りサポートとして手すりを設置。お子様連れ配慮として、ベビーチェアを設置したブースも設けている。

## 1F男性トイレ 小便器コーナー



床の清掃性に優れた壁掛け式の自動洗浄小便器を採用し、1ヶ所は、立位保持のための手すりを設置。荷物配慮として、小便器の間に傘や荷物が掛けられるフックを設けている。

## 1Fこどものへや 授乳室



「こどものへや」内に、カーテン(デザイン:安東陽子デザイン)で仕切ることができる個室タイプの授乳室を設けており、乳幼児連れでも安心して施設を利用することができる。

## 2F家族用トイレ



2F児童書コーナーの近くには、大人用大便器横に幼児用大便器を併設し、親子で利用できる家族トイレを設けている。お子様連れに配慮し、ベビーチェアやフィッティングボードなども設置している。

## 1F女性トイレ 洗面コーナー



白を基調とした清潔感のある洗面スペースは、衛生面に配慮して非接触で水の出しとめができる自動水栓と自動水せけん供給栓を採用している。

## 1F女性トイレ パウダーコーナー



女性トイレには化粧直し配慮として、全身鏡に荷物棚を設置したスタンディングタイプのパウダーコーナーを設けている。

## 建築概要

名称	みんなの森 ぎふメディアコスモス
所在地	岐阜市司町40番地5
施主	岐阜市
設計	株式会社伊東豊雄建築設計事務所
施工	安田・濃尾特定建設工事共同企業体
竣工年月	2015年2月

## 水まわりの特長

**<建物の特徴>**  
みんなの森 ぎふメディアコスモスは、「知の拠点」を担う市立中央図書館、「絆の拠点」としての市民活動交流センター、「文化の拠点」となる展示ギャラリーを擁する複合施設。岐阜県岐阜市の老朽化した公共施設の再集約および中心市街地の活性化を目的とした「つかさのまち夢プロジェクト」第1期整備として、旧岐阜大学医学部跡地に、2015年7月に開館した。天井には、県産材の東濃ひのきを使用。金華山の山並みに呼应した起伏のある屋根を特徴とした独創的な外観フォルムを持ち、岐阜市のシンボリックな建築物として、中心市街地に今までにない新たな景観を創出している。

**<トイレの特長>**  
全体的に白を基調としたシンプルで清潔感のあるトイレ空間には、さまざまな利用者への快適性・利便性を実現。お子様連れの来館者が多いことから、親子トイレやキッズトイレを充実し、男女一般トイレ内にもベビーチェアを設置。さらに授乳室を設けているので、乳幼児連れでも安心して利用できる。女性トイレには、化粧配慮として、スタンディングタイプのパウダーコーナーを配置。車いす使用者やオストメイトなど、バリアフリーへの配慮から、多機能トイレを各フロア3ヶ所に設置。コンパクト多機能トイレバックを採用し、それぞれに異なる配慮をした器具を備えることで、機能分散化を図っている。